

## 電気・電子情報工学課程 前川啓一郎さん

実務訓練機関 Intel microelectronics

## 海外で実務訓練を行った理由

海外実務訓練では、実務を通して技術者としての経験を得られることに加えて、海外での生活および仕事のスタイルの違いを肌で感じることができません。私は将来、海外企業の技術者と関りながら仕事をしたり、海外の企業で仕事をしたりしたいと考えているので、海外で実務訓練を行う経験は必ず将来の自分に生かすことができると考えたからです。海外の技術者とともに働くためには、英語で会話ができることはもちろん、相手の考え方や生活のスタイルを理解する必要があります。そのためのトレーニングをするためには、この海外実務訓練が最適だと考えました。



## 実務訓練先機関の紹介・実習

Intel は主にマイクロプロセッサ、チップセット、フラッシュメモリなどを製造・販売している半導体メーカーです。” Intel Inside” で知られているように、PC 用の CPU を中心に世界の半導体シェアの多くを占めています。Intel Malaysia では主に IC チップのデザインを行っており、今回のインターンシップでは私も IC デザインチーム部に所属して業務を行いました。具体的には、IC デザイン用のアプリケーション上でプログラムを作製し、IC の構造設計と検証を行いました。また、デザインに関してのアイデアや進捗などを共有するために毎週行われるチームミーティングにも参加し、実際に働いている技術者の方たちと同じ立場に立って仕事を行いました。

## 現地での生活

ショッピングセンターやレストランなどがたくさんあり、物価が安いので買い物も食事も楽しくできました。ホーカーセンターと呼ばれる屋台やナイトマーケットで食べられる現地の料理はとても美味しいし、日本食のレストランもあるので食べ物には困りませんでした。日本とは違ってインターネットの環境が悪いという難点がありますが、病院などの設備もしっかりしており、快適に生活できました。ペナンは観光地で有名な観光スポットがたくさんあるので、週末には友達や会社の同僚と一緒に出掛け、現地の文化を満喫しながら二か月間を過ごすことができました。

## 海外実務訓練を考えている学生へ

海外の企業では細かな仕事の指示を与えられることはなく、自分からやりたいことを要求していく必要があります。私は、分からないことを聞くことを恥じずに同じチームの同僚とディスカッションや会話を重ねることで技術力はもちろん、英語の会話能力も大きく成長させることができました。海外で楽しく効率よく仕事をするためには、正しい文法で正確に会話するよりも、スピーディーに会話を進める方が大切なので、リスニングとスピーキングを練習しておくと思いいます。また、礼儀正しさよりも笑顔が大事です！上司と部下で上下関係があまり無かったり、出勤時間がフレキシブルだったり最初は戸惑うことが多いですが、日本では体験できないことをできるとして楽しむことが大切です。

